

# 令和6年能登半島地震

## 被害にあわれた方々にお見舞い申し上げます

### 自衛隊の災害派遣

(写真・データ：統幕 HP 参照)

令和6年1月1日(月)

1610 能登地方を震源とする最大震度7(M7.6  
深さ約16km)の地震が発生

1645 石川県知事が第10師団長に災害派遣要請  
1月2日(火)

1040 中部方面總監を長とする統合任務部隊編成  
1月4日(木)

0900 富山県知事が第10師団長に災害派遣要請  
1月9日(火)

富山県の活動が終了

1月19日(金)

在日米軍が支援物資を能登空港まで空輸

2月2日(金)

0800 統合任務部隊から中部方面隊を中心とする  
約1万人の態勢に移行

北陸3県の部隊は、災害発生の初日から迅速かつ最大限の人員を投入して活動を開始し、翌日統合任務部隊が編成され、陸海空が一丸となって展開しました。

広大な能登半島では道路が寸断され多数の孤立地帯が発生、海岸も隆起しましたが、陸はレンジャー部隊等が山地を踏破し、ヘリ部隊は空路から、ホバークラフトは海路から、人、物資、重機を送り届け、現地のニーズに応じた活動を継続しています。



第14普連の救助活動



道路啓開を行う第4施設団



物資輸送を行う即応予備自衛官



孤立地域への物資運搬



患者搬送



12後支隊の入浴支援

令和6年2月7日(水)までの活動実績(延べ)

人命救助：約1,040名 衛生支援：約660名 患者輸送：約720名

輸送支援：糧食 約3,357,000食、飲料水 約1,828,000本

毛布 約18,000枚 燃料 約150,000L等

給食支援：約114,000食 食給水支援：約4,100トﾝ 入浴支援：約151,000名

「はくおう」利用者：約1,400名 道路啓開：県道1号・6号・52号・57号・266号・285号及び国道249号等の一部区間